

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方(もしくは代理人の方)にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	微小変化型ネフローゼ症候群における腎実質体積を用いたベースライン・クレアチニン推測式の検証		
1. 研究の目的と方法	微小変化型ネフローゼ症候群患者さんの治療反応性に急性腎障害の有無が関連することが知られています。しかし、急性腎障害の診断にはもともとの腎臓機能(ベースライン・クレアチニンの値)が必要ですが、しばしば微小変化型ネフローゼ症候群患者さんのもともとの腎臓機能が不明なことが多いです。腎臓の大きさはもともとの腎臓機能と関連することが示唆されています。当院における他の研究において、腎体積からもともとの腎臓機能を推測する式の作成が試みられています(研究課題名『腎体積を用いたベースライン・クレアチニンを推測する回帰式の作成』)。本研究では、腎体積を用いて微小変化型ネフローゼ症候群患者さんのもともとの腎臓機能との比較をすることを目的とします。		
2. 研究期間	承認日～2026年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	附属病院当科受診患者さんのうち、2007年4月1日～2017年3月31日までに腹部CTが実施された微小変化型ネフローゼ症候群患者さん。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査)	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 腎臓・高血圧内科
		氏名	坪井 伸夫
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2023年9月頃～		

【問い合わせ先】	東京慈恵会医科大学 内科学講座 腎臓・高血圧内科 研究代表者：坪井 伸夫（つばい のぶお） 電話：04-3433-1111（内線：3221） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。